

関西シニア会 会報

発行人 榎 重信 海旅業界関西シニア会
〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階

1999年 5月 10号

第10回 海旅業界関西シニア会総会開催される

ご挨拶

会長
榎 重信



早いものでシニア会も発足以来10周年を迎えることとなりました。今回はからずも、そろそろ裏方から引退する時期だと思っていました矢先、会長の大役を仰せつかり、どの程度お役に立てるか自信もございませんが、皆様のご指導、ご支援を戴きながら頑張っやっていこうと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、ご存じの通り現在会員数も約130名となり、役員諸氏の努力のもと各種の行事も行ってきましたが、行事によっては参加者が減少する傾向にあり、加えて最近では退会される方も散見され、会のあり方や行事についても見直す時期でなかろうかと感じています。そもそも当会の存続理由は、業界で苦勞してきた友人達と退職後も共に語り合い、共通の趣味を楽しみながら情報を交換する場を持つことにあると考えますので、今後の会の運営のあり方についての皆様の忌憚のないご意見を頂き実施したいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

総会のご報告

去る2月6日(土)午前11時より三井アーバンホテル大阪の6階ホールに於て第10回総会が開かれました。

会議は高山嘉明氏の司会で進行、中村省二会長の挨拶に始まり議題を順次消化、本年度は10周年という事で「スポーツと健康」と題して医学博士 萩原 隆先生の講演をお願いしました。小休憩に引続いて恒例の懇親昼食会に移り盛り沢山の料理に舌鼓を打ちつつ久々の再開に話がはずんでいました。

その後恒例となりましたビンゴゲーム、カラオケ等で15時頃無事解散、楽しい一時を過ごされた事と思えます。



総 会 報 告

事務局長 雌 次 郎

議 題

- 1) 平成10年度各部活動報告と11年度の予定 各担当幹事氏より
- 2) 平成10年度決算報告と11年度予算案 会計幹事 雌 次郎氏
- 3) 平成11年度役員、幹事の改選 事務局長 辻村 脩氏
- 4) 新規入会者のご紹介 (平成10年度) 敬称略
岸本康哉 シャープ・ファイナンス・ツーリスト
黒田益弘 (株)成光ビルディング (元.日通航空)

平成11年度

境 暁 士	阪急交通社
野 上 勉	デルタ航空
森 隆 司	ダッキィ (元.日本航空)
宮 脇 節 夫	ほくせつトラベル (元.東急観光)
安 川 葵	トラベラー(株) (日通航空)
岩 田 正	大阪国際女子短大 (J.T.B)

新役員は下記の通り

会 長	梶 重 信	(元.JAL)
副会長	山 田 晴 義	(日本旅行)
"	牧 野 宏	(日本航空)
"	藤 岡 好 子	(元.タイ航空)
幹 事	石 原 友 雄	(元.日通航空) 旅行担当
"	高 山 嘉 明	(株)アイビ・プロテック) トレッキング担当
"	寺 西 徹	(元.日本通運) ゴルフ担当
会 計	辻 村 脩	(株)フジ企画)
会計監査	福 井 功	(ユナイテッド航空)
事務局長	雌 次 郎	(元.東急観光)

事務局より

本年4月より事務局は下記の通り変更致しました。

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階トラジャルウエスト内
PHONE06-6635-3123 FAX06-6635-3122

決算報告と予算案

自 平成10年 1月 1日
至 平成10年12月31日

(単位 円)

○ 決算報告書

平成11年1月22日
作成者 雌 次郎

右記内容監査の結果、正確に会計処理が行われていることをご報告いたします。

平成11年1月26日
監査役 福井安司

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	466,829	入 会 金	2,000
部活動補助金	155,000	年 会 費	488,000
通 信 費	95,198	総会パーティ参加費	360,000
印 刷 費	155,238	前 期 繰 越 金	356,891
消 耗 品 費	0	受 取 利 息	196
慶 弔 費	0		
雑 費	4,601		
計	876,866		
次 期 繰 越 金	330,221	計	1,207,807
合 計	1,207,087		1,207,087

※ 次期繰越金 330,221 円内 100,000 円は 10 周年記念準備金として含まれています

○ 予算 (案) 平成 11 年度

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	500,000	入 会 金	5,000
10 周年記念引当金	100,000	年 会 費	480,000
※部活動補助金	240,000	総会パーティ参加費	400,000
通 信 費	95,000	前 期 繰 越 金	330,221
印 刷 費	150,000	受 取 利 息	100
消 耗 品 費	5,000		
慶 弔 費	20,000		
雑 費	5,000		
計	1,115,000	計	1,215,321
次 期 繰 越 金	100,321		
合 計	1,215,321	合 計	1,215,321

※部会活動補助金内訳

- | | | | |
|------------|-------|-----|------------------|
| 1. ゴルフ部会 | 20名参加 | 年2回 | 40名×2,000=80,000 |
| 2. 旅行部会 | 30名参加 | 年1回 | 30名×2,000=60,000 |
| 3. 夏季パーティ | 40名参加 | 年1回 | 40名×1,000=40,000 |
| 4. トレッキング | 10名参加 | 年4回 | 40名×1,000=40,000 |
| 5. 部会活動連絡費 | | | 4名×5,000=20,000 |

合 計

240,000

各部会報告

平成11年度ウォーキング予定案 (会員1名、各会毎1,000円の補助があります)

昨年は5回のウォーキングに39名が参加され楽しく過ごしました。今年も次の計画を立てましたので参加をお待ちいたします。

- | | | | |
|-----|------------------------|--|--|
| 第1回 | 5月23日 (日) | 南河内古墳巡り
近鉄 藤井寺駅 | 8 km 2時間45分
09:30頃スタート(日本武尊、応任天皇陵他) |
| 第2回 | 6月20日 (日) | 仁川、甲山
阪急今津線仁川駅 | 7 km 3時間20分
09:30頃スタート (甲山309mと北山貯水池) |
| 第3回 | 8月6日 (金)～8日 (日) | 高野山夏期大学 講演会聴講と山内自由散策
毎日新聞社主催行事
南海高野線 難波駅 10:30頃臨時急行 (詳細発表6月中旬)
参加費(98年の場合) 約31,000円
(聴講料、2泊5食、なんば、高野山往復運賃) | |
| 第4回 | 9月19日 (日) | 清荒神と武田尾とJR廃線跡
阪急宝塚線 清荒神駅 | 9 km 3時間30分
09:30頃スタート |
| 第5回 | 10月24日 (日) | 斑鳩 (法隆寺)
近鉄 王子駅 | 9 km 3時間00分
09:30頃スタート |
| 第6回 | 12月12日 (日) | 須磨アルプス
山陽電鉄 須磨裏公園駅 | 9 km 4時間
09:00スタート |
| 番外 | 11月7日 (日)
又は23日 (祝) | 六甲山全山縦走
山陽電鉄 須磨裏公園駅
阪急、JR、宝塚駅到着 22:00頃
8月1日エントリー受付、エントリーフィー1,000円 (98年) | 56km 16時間
05:45スタート |

※ 参加申込書は別紙同封



ゴルフ部会活動報告

○ 平成10年度の実績と回顧

当初の計画ではゴルフ部会の正式行事として、春秋2回の大会と、それ以外の任意の研修会を3回、都合年5回のゴルフコンペを予定していましたが、結局都合により下記の4回に終わりました。但し、1回は湯の郷温泉へ前泊してのプレイでした。

第17回大会	7月10日（金）	三木セブンハンドレッドクラブ	参加者12名
		優勝 中村省二 2位 早瀬久義 3位 雌 次郎	
研修会	7月22日（水）	三木セブンハンドレッドクラブ	参加者13名
第18回大会	10月6日（火）	湯の郷ゴルフクラブ	参加者12名
		優勝 鎌田利春 2位 石丸夫人 3位 古藪八郎	
研修会	11月25日（水）	スポーツ振興GC猪名川コース	参加者8名

○ 平成11年度ゴルフ部会計画

前年実績に見る如く、シニア会全体の会員数からみて、毎回参加者が少ないのが非常に残念ですが、本年度は一人でも多くの方が健康増進のため、プレーに参加していただき和気あいあいとゴルフプレーを楽しんでいただければと思っています。勿論、奥様同伴も大歓迎です。

本年度の予定としては、例年の如くゴルフ部会の正式行事として春秋2回の大会と、任意の研修会を3回計、年5回のゴルフコンペを開催したいと思っています。

第19回大会	4月中旬頃	4月15日天理カントリークラブ
研修会	6月初旬頃	開催場所未定
研修会	9月初旬頃	”
第20回大会	10月中旬頃	”
研修会	12月初旬頃	”

開催場所については何れも未定ですが、もし会員の中でご自分のメンバーコース又はご推薦いただけるコースがありましたら是非ゴルフ部会幹事までご連絡ください。



会員便り

現在心がけている事

青山 宏

平成10年の関西シニア会の会報に拙い体験談を載せていただき何かほっとした矢先、榊会長より今一度書いてほしいとの依頼を受け何を表現しようかと迷いましたが、次のような事感じたまま書いてみました。

過日友人と神戸に近いゴルフ場に参りました折、スタートの休憩所に次のような額がかかっていた。

人生は六十から

1. 七〇才でお迎えの来たときは
只今留守と伝え
2. 八〇才でお迎えの来たときは
まだまだ早いと伝え
3. 九〇才でお迎えの来たときは
そう急がすともよいと伝え
4. 百才でお迎えが来たときは
頃を見てこちらからポツポツ行くと伝え

気を長く心は丸く腹たてず口をつつしめば命ながらえる。合掌

これは吾々年代には役に立つと写して帰り二・三の軍隊時代の戦友に色紙に書いて送ってやりました。およそこの世に生を受けて老いない人はおりません。いかに進歩をした現代の生化学、医学をもってしても秦の始皇帝のように不老不死の霊薬を望むのは無理な話、しかし長生きをし、いつまでも若々しい老後を送ることは決して不可能なことではないと思います。現に私たちの中に平井先輩のような見本になる方が居られます。現在でもご活躍のご様子高山氏より総会の折にお話がございました。以前に読んだ本の中に人間国宝の尾上多賀之

丞さんが「私は今年八十五歳ですから同じ役が二度とやれるかどうかわかりません。

それで今日のこの舞台は一生一代の晴れの場なんだと毎日言い聞かせながら芝居に取り組んでおります。茶道の一期一会の同じ心でしょうか」頭が下がります。

又彫刻家の平櫛田中翁が九十歳の折に「百里を志すものは九十里をもって半ばとすという。私もやっと半ばに達した、仕事はこれからである」と言われたと云うのを伺い何とすごい若さ、意欲だと思いました。シニア会の人達にはありませんが小生の周囲には“もう年です”“この年になって”等と云って自らの意欲を萎ませておられる方がおられます。阪神大震災の影響なのかな？・・・

過日テレビで九十五歳の年代で一人用のカートにゴルフバッグを積んでプレーをし、球を打った後駆足でカートを引いてボールを追いかける、その上ハーフを五十二で回るのを見てすげえじいさんだと只々驚くばかりでした。一月に他界された剣道の先生で八十歳の年にでも小生は歯が立ちませんでした。八十五歳まで稽古を続けられましたすごい気魄で若者を指導していました。私も人生は今からが肝心であり、これから先が楽しみだと信念し意欲を持っていろいろなことに挑戦して参ります。その手始めがゴルフを九十五歳まで剣道は八十五歳までと目標を立てました。明日の事はわかりませんが目標に向かってつき進みます。皆々様今後ともよりしくおつき合い、ご指導の程お願い申し上げます。

シニア会の皆さん、こんにちは。

矢倉 隆雄

お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素のご厚情を感謝致しております。

さて、私が少年時代から大好きな詩人石川啄木。その啄木の愛好家で今は亡き作詞家萩原四郎氏（「錆びたナイフ」「赤いハンカチ」「夕日の

丘」等）より多大な影響を受けて長年、啄木の研究を続けてまいりました。そしてやっと念願が叶いカリフォルニア・キリスト教大学大学院博士課程にて所定の単位を取得し、このたび論文「石川啄木とその時代」が審査により文学博士の学位を授与さ

れ、併せて教授会と理事会の推挙を受け、同校の客員教授に任命されました。私が24歳の時から30年以上にわたり直接ご指導くださったカリフォルニア・キリスト教大学名誉教授 嶋 久雄博士、シニア会の先輩で平成7年3月にカリフォルニア・キリスト教大学より理学博士の学位を授与され、私がトラベラー在職当時の昭和43年に渡航者に対する予防注射専門クリニックの開設を発案されました早瀬久雄博士に対しまして厚く御礼申し上げます。

また30有余年、変わらぬ親交をいただいている榎 重信氏、雌 次郎氏をはじめ、今日まで御縁を頂いて知己を得たシニア会の方々にも心より御礼申し上げます。

早いもので私はいつも誰かに助けられて、まもなく57歳を迎えますが、これからもシニア会の会員である事を誇りとして、生かされている限り向上心を忘れることなく、ほんの少しでも社会のお役に立つべく地道に研究、努力を重ねてゆく所存でございます。

今後とも変わリませず心温まるご指導、ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げますとともにシニア会、会員皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。

総会当日講演いただいた要旨を下記のように
転載させていただきました

健康とスポーツ

医学博士
萩原 隆

先進各国における三大死因はガン、脳卒中と虚血性心臓病で、いずれも生活習慣病（昔の成人病）である。わが国の糖尿病患者は500万人（予備軍を数えるともっと多い）と増えてきているが、食事の栄養価が過大で、肉体労働が減った事が原因である。糖尿病は動脈硬化のため早死にする事になる。スポーツは糖尿病や虚血性心臓病の予防に著しい効果があり、米国ではジョギングブーム国を挙げての「歩け歩け運動」キャンペーンが功を奏し心臓死は激減した。

高血圧は食塩の取りすぎ、動脈硬化は脂質の取り過ぎで起こる。わが国の高血圧患者数は約3000万人だが脂質の取り方は若年層で米国のそれをぬいているのは由々しい事態だと思う。ガンは遺伝子異常が蓄積して発病する慢性病であるが、これも、ある程度まで生活習慣が関与する。ここでカリフォルニア大学プレスロウ教授が提唱する長寿7条件を紹介したい。

- ① 禁煙：日本の風土は禁煙に甘すぎる。
- ② 節酒：酒に飲まれていないかどうか
(アルコール依存症)自己チェックすること。

- ③ 生涯スポーツを心がける：運動は7条件中の一条件に過ぎないことに注意。
- ④ 標準体重を維持する事
- ⑤ 睡眠を十分に
- ⑥ 朝食はしっかりとること：夕食は軽めに、夜8時以後は食べない。
- ⑦ (不必要な) 間食はしない。

生涯に亘って運動を続ける事が必要なら高齢になってもできるものが望ましい。ウォーキングはもっとも適当なものといえるのでないか。逆に、スポーツに打ち込んでいる人々が陥りやすい最大の誤りはやり過ぎであろう。「過ぎたるは及ばざるが如し」体力の向上は健康増進と必ずしも平行しないことを銘記すべきである。(完)

萩原先生は診療の他に下記の通りスポーツドクターとして活躍されています

日医ジョガーズ連盟事務局長
日本医師スポーツ協会理事
萩原 隆 院 長

事務局だより

前事務局長 辻 村 脩

98年度事務局の活動状況として、遅れていた会員名簿の発行があり、藤岡副会長のご協力を得て6月中旬に、会員全員に名簿作成資料を送付、7月末に回収を終え、内容をチェックし訂正すべき個所は全て訂正し、8月末完成、皆様のお手元にお届けした次第、ご利用頂けましたでしょうか？ その後、又平成11年1月に大阪地区のみですが電話番号の局番が4桁となりましたので、局番の前に6番を加えてください。

例年恒例の納涼ビアパーティでは再度マイツァーの熊代社長のご協力に依り、7月24日午後6時より肥後橋のサントリービル屋上ビアガーデンにて開催、当日は雨天が予想されましたが、時折雨がパラ付く程度、一方参加者は、去年を上廻り38名が出席、飲み放題の食べ放題、メートルが上がった8時30分、サントリー提供のワインを手に散会となりました。その他、各部会の活動状況は各部長・世話役の方から報告が掲載されてますのでお解り頂けたと思いますが、ゴルフ部は幹事寺西様始め部員各位の協力で、97年以後コンペと研修会を含めて年間4～5回活発に行われておりますので、お好きな方は、どしどし入会参加し、友好を深めてください。

一方ウォーキング部に付いても97年度発足時は、参加者も少なく催行一回でしたが98年度は、幹事高山様の熱心な努力と共に次第に増加してきましたので、此れを機会に、健康管理と友好を深めて頂きたく、多数の参加をお待ちしております。尚、音楽部は、クラシックに始まり、ジャズ、ラテン音楽、シャンソン、ポップスと幅広い為により好みも異なりますので、現状催行が困難な状況です。よいアイデアが有れば事務局までお知らせ下さい。以上近況報告と致します。

事務局長退任のご挨拶

辻 村 脩

1994年の春、当時の事務局長榎 重信氏の後任として、力不足ながら事務局をお預かりして今日迄3期6年間の長きにわたり、大過なく送らせて頂きました事は、当時の榎事務局長藤岡次長のご指導のお影であり、石丸・中村両会長始め役員幹事各位のご支援、会員各位のご賛同が得られたお影と感謝しております。

新事務局長には、元会計幹事の雌 次郎氏が選ばれましたので、私同様皆様のご支援とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

尚、小生今後暫くは雌氏に代って会計のお手伝いをさせていただきますので、引続きご協力の程、お願いいたします。

事務局連絡事項

10周年記念にテレホンカードを造りましたので会報
発送に合わせ同封させていただきます。